

三宅島火山噴火災害の復興に関するシンポジウム

地盤工学会関東支部「地盤工学的立場から見た三宅島火山災害に関する研究委員会」では、平成20年3月まで3年にわたって、活動を行って参りました。活動の内容は、関東地方で起きた大規模災害である三宅島の2000年噴火について、その被害や復興の実態を地盤工学の立場から総合的研究するものです

本シンポジウムは、委員会の最終報告および一般から募集した研究の発表を行うものです。皆様の参加をお願いします。

年月日 **平成20年5月12日**

時刻 **13:00～17:00**

場所 **地盤工学会 地下大会議室**

<http://www.iban.or.jp/>

JR山手線巣鴨駅下車徒歩10分

都営地下鉄三田線千石駅下車徒歩5分

112-0011東京都文京区千石4-38-2

TEL:03-3946-8670 FAX:03-3946-8678

参加費 **無料**

ただし、資料代実費(¥2,000)をいただきます

資料は、A4サイズ120ページ(カラー60ページ)、限定100部

プログラム

第一部 委員会報告

- | | | |
|---------------|------------------|-----------------------------|
| 13:00 ~ 13:10 | 副委員長あいさつ | 中山俊雄 (元東京都土木技術研) |
| 13:10 ~ 13:30 | 三宅島2000年噴火の経緯と災害 | 千葉達朗(アジア航測) |
| 13:30 ~ 13:50 | 細粒火山灰と石膏の浸透能 | 千葉達朗(アジア航測) |
| 13:50 ~ 14:10 | 火山ガスの被害 | 内田篤貴 (日本物理探鉱)・大里重人 (土質リサーチ) |
| 14:10 ~ 14:30 | 植物の被害 | 沖津二郎 (応用地質) |
| 14:30 ~ 14:50 | 土砂災害の特徴と対策 | 中濃耕司 (砂防エンジ)・堀ノ内央 (応用地質) |
| 14:50 ~ 15:00 | 三宅島の防災の課題 | 大里重人 (土質リサーチ) |
| 15:00 ~ 15:10 | 質疑応答 | |

第二部 一般講演

- | | | |
|---------------|----------------------------|----------------------------|
| 15:20 ~ 15:50 | 三宅島2000年噴火によって形成された火山豆石 | ○中山聡子 (保全工学研)・千葉達朗・遠藤邦彦 |
| 15:50 ~ 16:10 | 2000年三宅島噴火後の土砂浸食量調査と植生回復調査 | ○黒川潮 (森林総研)・小川泰浩・岡部宏秋・阿部和時 |
| 16:10 ~ 16:30 | 火山との共生とネイチャーガイドの役割 | ○野田博之 (三宅島自然ガイドキュルル) |

第三部 ディスカッション

- | | | |
|---------------|-------------|---------|
| 16:40 ~ 17:00 | 三宅島火山災害について | 司会：千葉達朗 |
|---------------|-------------|---------|